

# 令和7年度 履修証明プログラム

令和7年2月7日現在

明浄正直コース									
(目的) 神道を理解する									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
◎	神社神道の本質	授業	神道概論Ⅰ	高野	春	2	21	水Ⅱ	◎印の科目は必ず履修してください。 ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。
		授業	神道概論Ⅱ	高野	秋	2	21	水Ⅱ	
	神道の歴史と特質	授業	神道史Ⅰ	新田(恵)	春	2	21	木Ⅲ	
		授業	神道史Ⅱ	新田(恵)	秋	2	21	木Ⅲ	
	古代朝廷・神宮のまつり	授業	祭祀概論Ⅰ	田井	春	2	21	月Ⅳ	
		授業	祭祀概論Ⅱ	田井	秋	2	21	月Ⅲ	
	神道の価値観	授業	神道神学Ⅰ	松本	春	2	21	木Ⅰ	
		授業	神道神学Ⅱ	松本	秋	2	21	木Ⅰ	
	皇室の基礎知識	授業	皇室概説	塩川	秋	2	21	金Ⅱ	
	明治以降の神道史	授業	近代神道史	高野	春	2	21	月Ⅲ	

方言研究ビギナーズコース									
(目的) 方言解明のための技法を学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
	日本語音声・語彙の基礎	授業	国語学概論Ⅰ《音声・語彙》	濱畑	春	2	21	月Ⅰ/月Ⅱ	・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。
	奈良時代・平安時代のことば	授業	国語史概説Ⅰ	兒島	秋	2	21	火Ⅳ	
	室町時代・江戸時代のことば	授業	国語史概説Ⅱ	兒島	春	2	21	火Ⅱ	
	データから分析する日本語	授業	社会言語学	中井	春	2	21	集中・土Ⅱ~Ⅴ	
	方言調査の方法	授業	専門演習ⅠG	齋藤(平)	春	2	21	木Ⅱ	
		授業	専門演習ⅡG	齋藤(平)	秋	2	21	木Ⅱ	

日本史探究コース									
(目的) 歴史を学び直す									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
□	日本の古代史	授業	国史概説A《古代》	遠藤(慶)	秋	2	21	火Ⅰ	・□印のうち、どれか1つは履修してください。 ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。
□	日本の中世史	授業	国史概説B《中世》	岡野(友)	春	2	21	木Ⅰ	
□	日本の近世史	授業	国史概説C《近世》	谷戸	秋	2	21	火Ⅰ	
□	日本の近代史	授業	国史概説D《近現代》	谷口	春	2	21	月Ⅳ	
□	アジアの歴史	授業	東洋史概説Ⅰ	堀内	春	2	21	金Ⅱ	
		授業	東洋史概説Ⅱ	堀内	秋	2	21	金Ⅴ	
	日本史学の歴史	授業	日本史学史	遠藤(慶)	秋	2	21	金Ⅳ	
	古文書入門	授業	古文書学Ⅰ	岡野(友)	春	2	21	木Ⅱ	
		授業	古文書学Ⅱ	岡野(友)	秋	2	21	木Ⅱ	
	考古学入門	授業	考古学Ⅰ	竹田(憲)	春	2	21	水Ⅳ	
		授業	考古学Ⅱ	竹田(憲)	秋	2	21	水Ⅳ	
	日本美術史	授業	美術史Ⅰ	岡野(智)	春	2	21	火Ⅱ	
		授業	美術史Ⅱ	岡野(智)	秋	2	21	火Ⅱ	

心理学コース									
(目的) 日常生活に役立つ心理学を学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
○	心理学の基本を広く学ぶ	授業	心理学概論Ⅰ	芳賀	春	2	21	木Ⅱ	・○がついているテーマを必ずひとつ選択し、それ以外のテーマから1科目以上を受講してください。 ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。
		授業	心理学概論Ⅱ	芳賀	秋	2	21	木Ⅲ	
○	心の健康と支援について学ぶ	授業	臨床心理学概論	高沢	春	2	21	火Ⅱ	
○	心と行動の発達について学ぶ	授業	発達心理学	栗野	春	2	21	火Ⅲ	
	自己理解と対人関係に役立てる	授業	感情・人格心理学	高沢	秋	2	21	火Ⅱ	
		授業	社会・集団・家族心理学	中山(真)	春	2	21	火Ⅱ	
		授業	産業・組織心理学	中山(真)	秋	2	21	水Ⅰ	

文化と地域コミュニケーションコース									
(目的) さまざまな文化とコミュニケーションについて学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名【 】内はクラス名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
	日本語の特色を知ろう	授業	日本語コミュニケーション概論Ⅰ	濱畑	秋	2	21	金Ⅱ	・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。
		授業	日本語コミュニケーション概論Ⅱ	濱畑	春	2	21	木Ⅲ	
	文化の違いを知ろう	授業	異文化間コミュニケーションⅠ【a】	荊木	春	2	21	金Ⅱ	
		授業	Japanese Culture and History	C.メイヨー	春	2	21	月Ⅱ	
		授業	海外事情Ⅰ	C.メイヨー	春	2	21	月Ⅲ	
		授業	海外事情Ⅱ	C.メイヨー	秋	2	21	月Ⅰ	

教育基礎コース									
(目的) 基礎的な教育知識について学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名 【 】内はクラス名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
◎	教育の歴史や思想、制度等の教育学の基礎を学ぶ	授業	教育学概論【a】	野々垣	春	2	21	木IV	
	様々な教育理論を学び教育の意義を理解する	授業	教育哲学【a】	野々垣	秋	2	21	月I	
◎	教育現場で用いられている心理学の知識を理解する	授業	教育・学校心理学【a】	渡邊(賢)	秋	2	21	金I	
	教育という営みを歴史的視点から捉え返して理解する	授業	教育史【a】	井上(兼)	秋	2	21	月II	
	通常の学校・学級における特別支援教育の基礎を学ぶ	授業	特別支援教育の基礎	大杉	春	2	21	金IV	
	教職の意義、役割、職務内容、服務について理解する	授業	教職論【a】	野々垣	秋	2	21	金IV	
	社会の視点から教育を考える	授業	教育社会学	市田	秋	2	21	木IV	

- ◎印の科目は必ず履修してください。
- 時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

保育アップデートコース									
(目的) 保育や育児に役立つ、最新の保育知識や技術について学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
	乳幼児の心の発達を学び、保育における子ども理解の方法を知る	授業	子どもの心理学	吉田(直)	春	2	21	火III	
	乳幼児の育児に関わる心の問題と、家庭支援の働きかけについて学ぶ	授業	子ども家庭支援の心理学	吉田(直)	秋	2	21	火III	
	子どもの健康状態、疾病の特徴と処置・予防、事故の特徴と対応を学ぶ	授業	子どもの保健	小川	春	2	21	木I/木IV	
	3歳未満の時期の心身の成長発達と課題を把握する	授業	乳児保育I	小川	春	2	21	金III	
	幼児の言語獲得の段階を知り、絵本などを活用した言語発達を促す方法を学ぶ	授業	幼児と言葉	中條	春	2	21	月II	
	コードネームを活用した伴奏法を中心に、様々な表現活動を学ぶ	授業	子どもの表現技術	高橋 他	春	2	21	火I/火IV	

- 時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

地域と福祉コース									
(目的) 現代日本における地域の実情と福祉施策を理解する									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
○	地域社会の課題	授業	地域社会論	藤井	秋	2	21	火III	
○	現代と福祉	授業	社会福祉の原理と政策	中野	秋	4	42	火I II	
○	地域における福祉課題の理解	授業	地域福祉と包括的支援体制	大井	秋	4	42	火III IV	
	児童福祉サービスの理解	授業	児童・家庭福祉	土谷	春	2	21	水III	
	障害者福祉サービスの理解	授業	障害者福祉	榎本	秋	2	21	金III	
	高齢者福祉サービスの理解	授業	高齢者福祉	鶴沼	秋	2	21	月III	

- 印のうち、どれか1つを履修することが望ましい。
- 時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

現日スペシャルコース・人源輝業プログラム									
(目的) 日本の精神・伝統を理解し、現代の課題に取り組みめる能力を修得する									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
○	国家としてのあり方の理解	授業	日本国家論	竹田(恒)	秋	2	21	火II	
○	日本文化の理解	授業	日本文化論	橋本(雅)	秋	2	21	木I	
	地域活性化の意義と方法の理解	授業	地域再生論	岸川(政)	春	2	21	水IV	
	組織や地域等の運用・手法の理解	授業	マネジメント論	岸川(晃)	春	2	21	水III	
	政策立案・実施の原理と手法の理解	授業	公共政策論	岸川(政)	秋	2	21	水IV	
	DX政策の動向と課題の理解	授業	イノベーション論	高浦	秋	2	21	金III	

- 印のうち、どれか1つを履修することが望ましい。
- 時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

伊勢志摩で共に暮らす									
(目的) 地域資源と関連情報を生かした課題解決の方法を学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
	伊勢志摩圏域の定住資源と将来像	授業	伊勢志摩定住自立圏共生学I	池山	春	2	21	金II	
	伊勢志摩圏域の経済・産業と将来像	授業	伊勢志摩定住自立圏共生学II	池山	秋	2	21	金II	
	6次産業化実践論	授業	伊勢志摩定住自立圏共生学III	水谷	春	2	21	金IV	
	1・2・3次産業基本論	授業	伊勢志摩定住自立圏共生学IV	別府	秋	2	21	金IV	
	三十三総研との産学協働講座	授業	グローバル化と地域の経済社会	オムニバス	春	2	21	水IV	

- 時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。